

(別紙4(2))

事業所名: グループホームサンハイツ城栄

## 目標達成計画

作成日: 令和 元年 9月 9日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	近隣住民との関係は回覧板や挨拶程度である。昨年はコーラス等ボランティア来所の際、お声掛けしたら1名の参加があった。災害時の近隣住民との協力体制の構築は出来ていない。備蓄については本部での確保となっている。	近隣住民との関係の構築と災害時の協力体制をつくる。備蓄は当施設で最低限の物を確保する。	イベント時は近隣住民の方に声を掛け来所頂く事で施設を知って頂く。ご利用者と一緒におやつ等をお裾分けし、馴染みの関係を作り災害時の協力体制の構築を図る。当施設で飲料水を備蓄する。ハザードマップを職員や家族の目の着く場所に掲示する。	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。